

地球環境研究総合推進費 公開シンポジウム

地球温暖化の研究最前線

ごあいさつ

21世紀は「環境の世紀」ともいわれています。その中でも、地球の温暖化をはじめとした地球環境問題の顕在化は、われわれ人類や社会のあり方に対し大きな転換を迫っています。地球との共生を目指して、環境問題の軽減と克服を図っていくためには、環境変化の把握やメカニズムの解明を通じた将来予測、環境変化による影響の分析と適応の可能性の探索、環境変化を緩和するための対策の確立などに關し科学的な研究をすすめ、成果を活用していくことが不可欠です。

このため、環境省では、地球環境研究総合推進費を活用し、関係府省の協力を得て政府一体となった研究の推進に努めてまいりました。これによる研究は、国や大学、民間など、様々な研究機関の連携の下に実施されており、公開シンポジウムを通じて、その成果を広く一般の方に知っていただきたいと考えております。

今回は、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の第3次評価報告書が取りまとめられるなど、科学的な取組の進展を踏まえ、「地球の温暖化」をテーマとして取り上げることをいたしました。温暖化の現状や将来予測、影響や適応の可能性を中心として、“科学的に何がどこまでわかったか”、“何をこれから明らかにしていくべきか”に関し、研究プロジェクトに参加している研究者の方々、最前線で活躍されている方々を招き、最新のトピックスを交えたわかりやすいお話をいただこう予定しております。

「地球の温暖化」を題材に、地球環境研究の“今”をとおして、地球環境の“未来”を皆様と共に考えてまいりたいと思います。

環境省 地球環境局長 炭谷 茂

PROGRAM

10:00	開会挨拶	環境省 地球環境局長
10:10	◆ 第1セッション: 気候変化・温暖化の将来予測研究	
	QUESTION 1 温室効果ガスの観測・監視から何がわかるか?	
	● 広域観測と海洋吸収	向井人史(国立環境研究所)
	● 陸域炭素循環	井上 元(国立環境研究所)
11:00	◆ QUESTION 2	
	いつ、どのような気候や海面水位などの変化が生じるか?	
	● 大気海洋大循環気候モデルの開発とモデルによる温暖化予測実験	神沢 博(国立環境研究所)
11:25	◆ 招待講演	
	● 地球シミュレータによる温暖化予測研究	松野太郎(地球フロンティア研究システム長)
11:55	◆ 質疑応答	
12:10~13:15	昼食	
13:15	◆ 特別報告 IPCCの動向と政策との関係	木村祐二(環境省地球環境局)
13:45	◆ QUESTION 3	
	温室効果ガスの発生源と発生量はどのように推移するか?	
	● アジアの農耕地及び土地利用変化における温室効果ガスの発生量について	鶴田治雄(農業環境技術研究所)
	● 経済活動等からの温室効果ガスの発生	甲斐沼美紀子(国立環境研究所)
14:35	◆ 招待講演(第1セッション総括)	
	● 気候変化の現象解明研究の現状と課題	田中正之(東北工業大学教授)
15:05	◆ 質疑応答	
15:20~15:30	休憩	
15:30	◆ 第2セッション: 温暖化による影響とリスク研究	
	QUESTION 4	
	どのレベルの気候変化で、人類や生態系に危険が生じるか?	
	● 人の健康への影響・適応(特に熱中症を中心に)	安藤 満(富山国際大学教授)
	● 海面上昇の影響・適応	斎藤文紀(産業技術総合研究所)
	● 生物圏への影響	原沢英夫(国立環境研究所)
16:45	◆ 招待講演(第2セッション総括)	
	● 温暖化の影響・リスク研究の現状と今後	三村信男(茨城大学教授)
17:15	◆ 質疑応答	
17:30	閉会挨拶	

GLOBAL ENVIRONMENT RESEARCH FUND



キリトリ線

郵便はがき

1 0 5 - 0 0 1 1

お手数ですが
50円切手を
貼ってお出し
下さい

キリトリ線

東京都港区芝公園3-1-13
社団法人 国際環境研究協会 行